



学校だより 第18号

令和2年1月9日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明



3学期始業式の校長講話の様子

○一年生は、四月には新入生が入学し上級生となります。二年生として新入生を支える力、リードする力を養って欲しいと思います。新入生に認められ、尊敬される上級生になることを目標に定め、何事にも全力で取り組み、自分自身を磨いていきましょう。

○二年生も同様に、間もなく三年生になります。最上級生としての考え方や行動の仕方、最上級生に相応しい学力を身に付けて欲しいと思います。最上級生になるための締めくくりをしっかりとして進めていきましょう。

○三年生は、義務教育のまとめの期間となります。卒業まで最上級生としてのリーダーシップを発揮した生活を送るとともに、進路の決定に向けて全力を尽くしていきましょう。そして、義務教育終了後に社会人として求められる知識や技能、判断力や行動力を身に付けることも意識して学校生活を送り、有終の美を飾りましょう。

○今年は「子（ねずみ）年」です。「子（ねずみ）年」は十二支の中で一番初めに位置することから「新たな物事を始めるに相応しい年」「新たな運気のサイクルが生じる年」とされています。生徒の皆さんには、今年は、「新たな物事を始めるに相応しい年」なのだと同向きに受け止め、失敗を恐れず、新しいことにチャレンジして欲しいと願っています。

○本校では、三学期を学校の教育目標の「鍛錬」「参画」「飛躍」の中の「飛躍」を目指す学期と位置づけ、進路を中心に学習活動を進める計画を立てるとともに、「次の学年の準備をする学期」として、学校生活を送るよう働きかけています。

校長 佐藤 浩

新年明けましておめでとうございませう
「飛躍」の三学期です
目標を実現させ、
有終の美を飾りましょう



始業式で代表生徒の「新年の抱負」を真剣に聞く生徒の様子

1月5日 新宿区新年賀詞交歓会に参加しました



吉住健一区長さんの年頭のあいさつ

1月5日、新宿文化センターにおいて、新宿区新年賀詞交換会が開催されました。学校を代表して、新宿区内全小・中学校の校長が参加しました。会場の文化センター大ホールは、多くの区民の方々と満席となり、活気に溢れていました。

区長さんのあいさつでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、4月には、「新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例」を施行すること、また、区立学校の児童・生徒には、様々な人と接す機会を持ち、違いを認め合い、多様性と個性を尊重する心を育んでもらうため、海外観光客への英語を使ったおもてなしボランティア等に



江戸消防記念会による「木遣り」

り組んでもらっていることなどのお話がありました。※本校生徒5名がこのボランティア活動に参加しました。

始業式で各学年の代表生徒が「新年の抱負」を発表しました！ 紹介します

1月8日（水）、三学期の始業式で、各学年の代表生徒が新年の抱負を発表しました。いずれの発表もこの冬休みにじっくりと自分自身の「二学期を振り返り、成長した部分や課題、その課題を克服するために、自分のどこをどのように変えていくのか、具体的な行動目標や新年の抱負がしっかりと語られていました。いずれも感銘を受ける素晴らしい新年の抱負でした。全校生徒一人一人が三学期を充実させて過ごし、大きく成長してくれることを心から願っています。

1 年代表 D組 Aさん

私の今年の抱負は三つあります。一つ目は、優先順位を考えることです。私はピアノを習っているのですが、いつも練習を後回しにしがちでした。なぜなら、学校から帰ってきて、携帯をいじっているとつい時間が無くなってしまいうからです。しかし、今回、合唱コンクールの伴奏として、ピアノを演奏することになりました。みんなに迷惑はかけられないと、ピアノの練習を第一に考えました。結果、無事に合唱コンクールを終えることができました。そのことが、時に応じて何に力を入れるべきかを考えることが重要だということに分かせてくれたのです。

二つ目は、反復することです。私はバレーボール部に所属しています。サーブは、初め全然入りませんが、練習を何度も何度も続けることで、目標にしていた場所まで入るようになりました。練習を積み重ねることで、できるようになったのだと思います。それは学習も同じだと思います。

三つめは、今言った二つのことを持続することです。以前、テストで悪い点をとってしまいました。その時、優先順位を考えること、反復することを持続することができていれば、もう少し良い結果だったのではないかと考えました。

この三つは、今の生活だけでなく、将来にも役立つことではないかと思っています。この三つを身につけること、そして、今年やってくる一年生に、そのような先輩としての姿を見せることを目標に頑張ります。



2 年代表 D組 Bさん

一学期、二学期も終わり、いよいよ「三年生の〇（ゼロ）学期」と呼ばれる三学期になりました。今まで私たちは「良い集団」をつくることを目標にして様々な壁を乗り越えてきました。また、これまでの様々な体験で、自分の意外な部分や特色など、新しい自分を見つけることができました。三学期は、「三年生の〇（ゼロ）学期」と言われます。これは二年生の「締め」の学期です。メリハリのある生活習慣を身に付け、人に流されず自分の考えをしっかりと持ち、そんな三学期にしていきたいです。

また、この「三年生の〇（ゼロ）学期」を終えると三年生となります。ただ一年生、二年生のお手本になるだけではなく、最高学年であることの自覚を持ち、規律ある学校生活を送っていきましょう。そのために、自分の考えや思いをしっかりと持ち、勉強面では、自分の苦手な教科にも挑戦していくなどの、新たな目標を立て、自分を見つめ直していき三学期にしていきたいです。

私たち二年生は、これら二つのことを大切にして、悔いの残らない三年生の良いスタートがきれるように、三学期を過ごしていきます。



3 年代表 B組 Cさん

私の令和二年の抱負は三つあります。

一つ目は、「受験」という大きな壁を乗り越えることです。皆さんは二日、三日に行われた箱根駅伝は見ましたか。選手たちの一生懸命な姿にとっても感動しました。自分の人生を駅伝に例えるならば、受験はゴールへ向かう第一歩であるとともに、初めてのターニングポイントでもあります。自分の力で将来を掴むためには、なるべく同じペースで走ることが重要です。私は、先のことを見通せていなかったために、一、二年生の時は授業の内容もあまり頭に入っておらず、理解していないことから目も背けて、そのままにしていました。また、勉強は受験生になってからでも良いと思っていたら、いつの間にかコツコツと積み重ねをしてきた人に大きく遅れをとっていました。本番の日まで残り少ない時間ですが、一週間後、二ヶ月後、一年後の自分のために、「今」を大切に努力していきます。

二つ目は、仲間を大事にすることです。共に走っている友達は良きライバルであり、大切な仲間です。相手が頑張っていたら、自分はその倍頑張ろうとし、くじけそうになったり諦めそうになったりしたら、互いに励まし合う、そんな関係を仲間と築き、受験を共に乗り越えていきたいと思っています。

三つめは、周りの人に感謝を伝えることです。中学校生活の中で数えきれないほどたくさんの方々を支えてもらいました。自分の幸せな環境を当たり前だと思わずに、日々「ありがとう」を伝えたいです。そして、卒業式の日には私たちの晴れやかな姿を見せられるよう、また、後輩の手本となるような行動を心がけ、新宿西戸山中学校の生徒として残りの三カ月を過ごしていきたいです。仲間と切磋琢磨し、周りの支えに感謝しながら、受験に立ち向かうことを、第三学年を代表して、ここに誓います。

